

～ 埋立 / 棧橋接続部の上部コンクリート護岸が概成 ～

- 平成21年1月24日に、鋼管矢板井筒護岸の内部排水(ドライアップ)を完了後、頂版コンクリートの打設、スリット柱の建込、PC桁の施工を完了させ、埋立部と棧橋部を繋ぐ『埋立 / 棧橋接続部』の消波機能を有する上部コンクリート護岸が概成。
- 7月29日より井筒内部への注水を開始し、その後スリット柱前面の鋼管矢板を切断することにより、スリット式消波護岸(柱と柱の間に60cmの開口幅を設ける)として反射波の影響を軽減することが可能となる。
- 今後は、井筒前面の棧橋部ジャケット構造と一体的に連結するため、護岸前面の棧橋部の鋼管杭打設及びジャケット据付完了後に伸縮装置及び渡り桁の設置を進めていく。

